

[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)[First Hit](#)☐ [Generate Collection](#)

L2: Entry 1 of 1

File: JPAB

Apr 28, 1994

PUB-NO: JP406118914A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06118914 A

TITLE: AUTOMATIC DEMONSTRATION DEVICE

PUBN-DATE: April 28, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MIYOSHI, KATSUTOSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

APPL-NO: JP04269815

APPL-DATE: October 8, 1992

US-CL-CURRENT: 345/FOR.107

INT-CL (IPC): G09G 5/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide an automatic demonstration device which eliminates the need for a program dedicated to demonstration, provides automatic demonstration with all external media, and also eliminates the need for remaking a ROM even when data on an external medium are revised.

CONSTITUTION: A program which provides the original function of the device is stored in the ROM 12 and reference data and demonstration data are stored on the external medium 19. Plural key codes are set in the demonstration data and they are inputted with keys and executed to provide the automatic demonstration. Thus, the reference data and demonstration data are present on the same medium, so the automatic demonstration is enabled with all external media 19 and even when the data on the external medium 19 are revised, the need for remaking the ROM is eliminated.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-118914

(43)公開日 平成6年(1994)4月28日

(51)Int.Cl.⁵

G 0 9 C 5/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 8121-5G

審査請求 未請求 請求項の数1(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平4-269815

(22)出願日 平成4年(1992)10月8日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 三好 勝利

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

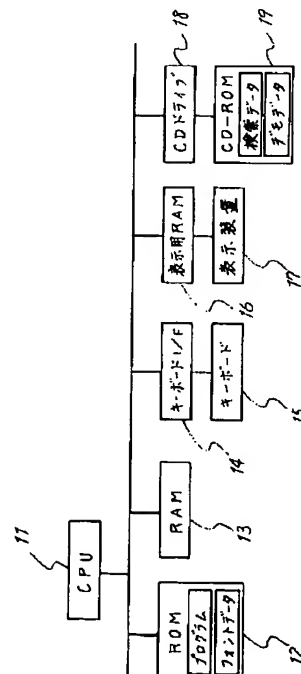
(74)代理人 弁理士 森本 義弘

(54)【発明の名称】 オート・デモンストレーション装置

(57)【要約】

【目的】 デモ専用のプログラムは不必要であり、すべての外部メディアでオート・デモが可能で、かつ、外部メディア内のデータを改訂する場合もROM再作成の必要がないオート・デモ装置を提供する。

【構成】 ROM12内に装置の本来機能を実現するプログラムを備え、外部メディア19内に参照データとデモ・データを備える。デモ・データには複数のキー・コードが設定されており、これをキー入力として、実行することでオート・デモを実現する。参照データとデモ・データを同一のメディア内に存在させているので、すべての外部メディアでオート・デモが可能で、かつ、外部メディア内のデータを改訂する場合もROM再作成の必要がない。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 自動運転でデモンストレーションを実現する装置であって、ROM内に装置の本来機能を実現するプログラムを備え、外部メディア内にデモンストレーションの内容データを備えたオート・デモンストレーション装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、電子機器などのデモンストレーション装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、電子機器などで機器自体のアピール、その機能のアピールや操作の説明を目的として、オペレータがいなくても自動運転でデモンストレーション（以下、オート・デモという）を実現する装置が用いられている。

【0003】従来のオート・デモ装置には以下のようなものがあった。

（1）電子機器の本来機能を実現するプログラムとは別に、完全に独立したデモ専用のプログラムを持つもの。

【0004】（2）電子機器の本来機能を実現するプログラムにデモ用に簡単な処理を付加し、デモ用に用意したデモ・データを参照しながらデモを実現するもの。この場合、デモ・データとは、キー・コードを定義したものであり、ここからデモ用に付加した処理ルーチンがキー・コードを1個ずつ取り出し、あたかもキー入力があったように、処理を進め、オート・デモを実現する。

【0005】これはゲーム機器などで行なわれる方法で、デモ・データはプログラムと同じ場所にあった。すなわち、プログラムがROM内にあればデモ・データもROM内にあり、プログラムが外部のメディア内にあればデモ・データもそのメディア内にあった。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら上記従来例では以下のような問題点を有していた。従来例（1）の場合、デモ専用のプログラムが必要であり、これが存在する媒体のサイズが増加する。また、デモ専用プログラムの開発期間が必要となる。

【0007】従来例（2）の場合、従来例（1）の問題点は解決されるが、プログラムがROM内にあり、外部のメディア内のデータをデモするようなシステムでは、デモ・データがROM内にあるとオート・デモを行う外部メディアが限定されてしまう。また、外部メディア内のデータを改訂する場合ROM内のデモ・データも改訂する必要があり、ROMを作成し直す必要が生じる。

【0008】本発明は、上記問題を解決するもので、デモ専用のプログラムは不要であり、全ての外部メディアでオート・デモが可能で、かつ、外部メディア内のデータを改訂する場合もROM再作成の必要がないオート・デモ装置を提供することを目的としている。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明は、ROM内の装置の本来機能を実現するプログラムを備え、外部メディア内に参照データとデモ・データを備えたものである。

【0010】

【作用】本発明は上記構成により、参照データとデモ・データを同一のメディア内に存在させているので、すべての外部メディアでオート・デモが可能で、かつ、外部メディア内のデータを改訂する場合もROM再作成の必要がない。

【0011】

【実施例】以下、本発明の一実施例について図面を参照しながら説明する。本実施例は、CD-ROMを用いた検索システム（すなわち、CD-ROM内に格納された内容を検索するシステム）において、その検索のデモンストレーションをCD-ROM内に検索データとは別に、あらかじめ格納されたデモ・データにしたがって行うものである。

【0012】図1は本発明の一実施例におけるオート・デモ装置の機能ブロック図であり、1はキー入力処理部、2は検索処理部、3はCD制御部、4は表示処理部を示す。

【0013】図2は本発明の一実施例におけるオート・デモ装置の回路ブロック図であり、11はCPU、12はROM、13はRAM、14はキーボードI/F、15はキーボード、16は表示用RAM、17はLCDなどの表示装置、18はCDドライブ、19はCD-ROMを示す。ROM12にはプログラムおよびフォントデータが格納されている。図1の本来機能はプログラムとしてROM12に格納されている。また、外部メディアであるCD-ROM19には参照データとしての検索データとデモ・データとが格納されている。

【0014】図3はデモ・データの構造図である。31はデータサイズであり、デモ・データ全体のサイズを示す。32はキー・ブロックである。図4はキー・ブロックの構造図である。41は画面タイプである。画面タイプとは、表1のようなものであり、現在表示中の画面タイプは画面管理変数としてRAM13に保存されている。画面の遷移時は、CDのリードが発生する場合が多い。CDのリード時間は確定しておらず、キーの入力間隔を時間だけで管理することはできない。よって、キーの入力時は、画面管理変数と画面タイプ41が一致することを条件にする。42は待ち時間であり、キーの入力間隔を設定したものである。43はCDドライブの状態であり、CDドライブの状態を見る必要があるかどうかの内容である。画面の遷移時には、画面タイプが切り替わらない（同一の画面タイプに遷移する）場合があり、この場合、画面タイプとキー入力の同期が取れなくなる。それを解決するための手段として用いる。また、検索データには音声データも含まれており、その場合、音

声再生が終了してから次のキー入力を行なうためにも用いる。44はキー・コードであり、キー入力処理部1への入力となるものである。

*【0015】

【表1】

*

画面タイプ	画面名	画面内容説明
0	検索語入力画面	検索語を入力する画面
1	該当項目画面	該当項目を表示する画面
2	本文表示画面	検索した本文の内容を表示する画面

【0016】このような構成要素からなる本実施例のオート・デモ装置について、要素間の関係とその通常の検索の処理動作について説明する。キー入力処理部1はキーボードI/F14を介してキーボード15の入力を受け取り、入力キーに対応するキー・コードを検索処理部2に通知する。検索処理部2はそのキー入力について表示の必要があれば表示処理部4に表示を依頼する。表示処理部4はROM12からフォントデータを読み取りながら表示用RAM16に書き込み、表示装置17に表示する。

【0017】また、検索を行なう場合にはCD制御部3はCD-ROM19のリードを要求する。CD制御部3はCDドライブ18を制御しながら、CD-ROM19の内の検索データの必要部分をリードする。リードした内容は、RAM13に一時的に保存され、その内容を検索していく。検索が終了すると、検索結果の表示装置17への表示を表示処理部4へ要求する。

【0018】次に、上記構成においてデモンストレーション動作を図5のフローチャートにそって説明する。デモンストレーション開始時にCD-ROM19内のデモ・データをリードする。リードした内容はRAM13に保存しておき、デモ・データの内容を参照する必要があるときは、RAM13を参照する。

【0019】まず、カウンタにキー・ブロック数を、ポインタにキー・ブロックの先頭アドレスを代入する(S1)。キー・ブロック数はデータサイズ31の内容とキー・ブロック32のサイズから求められる。キー・ブロックの先頭アドレスは図3のキー・ブロック-1の先頭のアドレスである。カウンタ、ポインタは共にRAM13内に保存される管理変数である。

【0020】次に、現在表示中の画面が、ポインタのさすキー・ブロックの画面タイプ41と一致するかどうかを調べる(S2)。一致したら、時間計測を開始する(S3)。時間がポインタのさすキー・ブロックの待ち時間42と一致するまで待つ(S4)。今度は、ポインタのさすキー・ブロックのCDドライブの状態43を見て、CDドライブの状態を見る必要があるかどうかを判断する(S6)。必要がある場合は、CDドライブがビジーでなくなるまで待つ。

【0021】以上をすべてパスすると、キーを入力して※50

※よい時期となる。キー入力処理部1は、ポインタのさすキー・ブロックのキー・コード44をキーボード15から入力があったときと同じように検索処理部2に通知する(S7)。そして、カウンタをデクリメントし、ポインタを次のキー・ブロックの先頭アドレスにする(S8)。カウンタが0でなければ、S2以降の処理を繰り返す。0ならば、もう一度、S1から繰り返す(S9)。0の場合は、デモンストレーションを再度繰り返すことになる。これ以外の処理は、通常の検索の処理と同様でオート・デモが実現できる。

【0022】

【発明の効果】以上のように、本発明によれば、参照データとデモ・データを同一のメディア内に存在させているので、デモ専用のプログラムは不必要であり、すべての外部メディアでオート・デモが可能で、かつ、外部メディア内のデータを改訂する場合もROM再作成の必要がないオート・デモ装置を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例におけるオート・デモ装置の機能ブロック図

【図2】同オート・デモ装置の回路ブロック図

【図3】同オート・デモ装置のデモ・データの構造図

【図4】同オート・デモ装置のキー・ブロックの構造図

【図5】同オート・デモ装置のフローチャート

【符号の説明】

1 キー入力処理部

2 検索処理部

3 CD制御部

4 表示処理部

40 11 CPU

12 ROM

13 RAM

14 キーボードI/F

15 キーボード

16 表示用RAM

17 LCDなどの表示装置

18 CDドライブ

19 CD-ROM

31 データサイズ

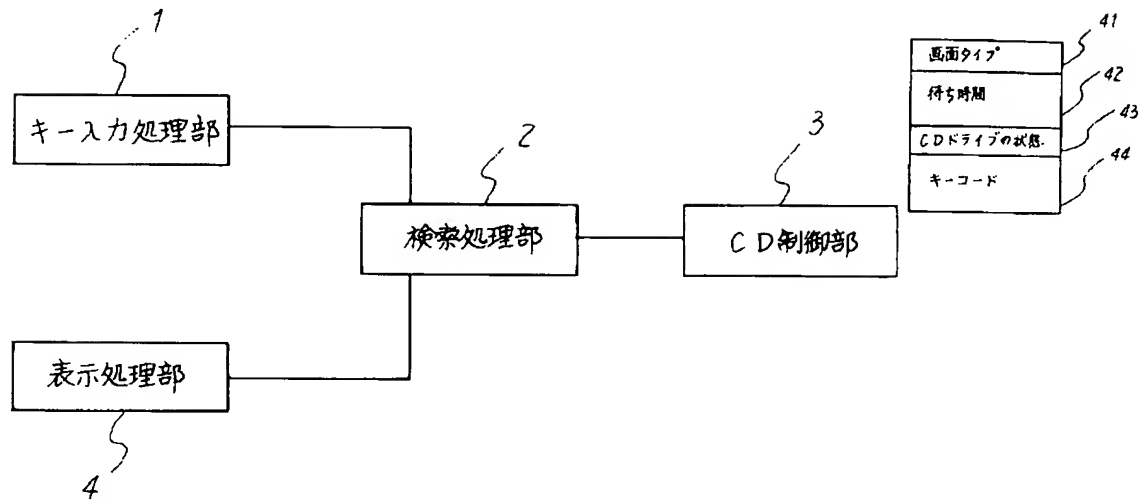
32 キー・ブロック

41 画面タイプ
42 待ち時間

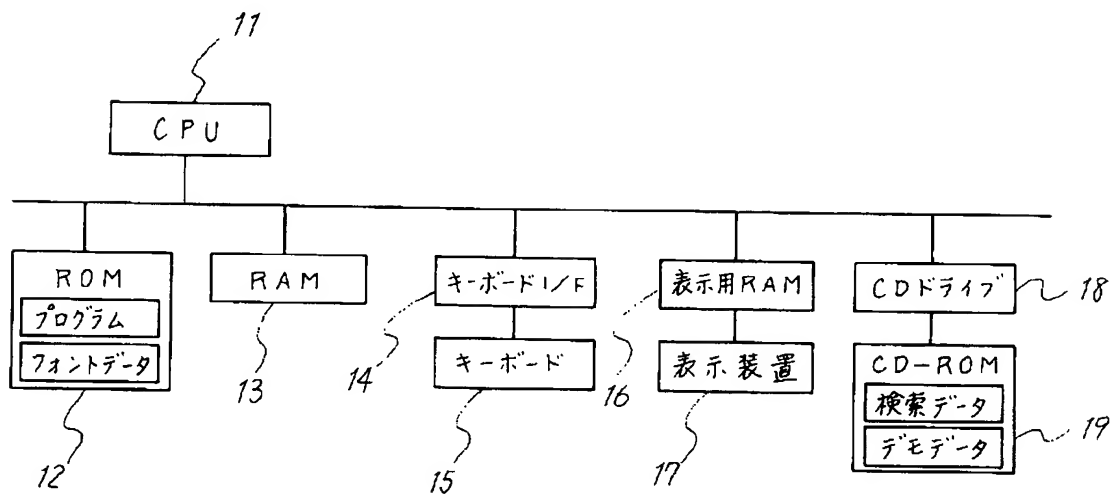
43 CDドライブの状態
44 キー・コード

【図1】

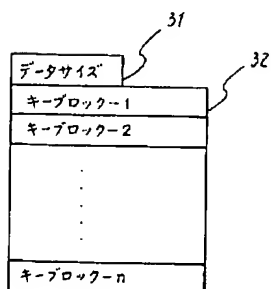
【図4】



【図2】



【図3】



【図5】

